

図書館だより

令和3年1月



新しき年の初めの初春の今日降る雪のいやしけ吉事

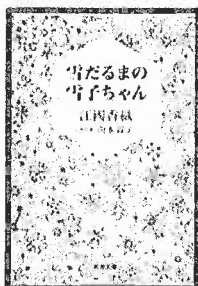
新しい年のはじまりの初春の今日を降り積もる雪のように、
良いことが重なってくれよ。

『万葉集』 大伴家持

明けましておめでとうございます。年が改まり、気持ちも新たに3学期を迎えていると思います。

今年は例年とは違う年明けですが、今しなければならぬことを着実にすることを大切にして、前を向いて進んでいきましょう。大伴家持の歌にあるように今年は雪がたくさん降っている日本列島ですが、本当にいいことがいっぱい重なるといいですね。

※雪※に関する本を紹介いたします。



「雪だるまの雪子ちゃん」 江國香織/著 山本容子/銅版画

ある豪雪の日、雪子ちゃんは空から降ってきました。最初に彼女を発見した画家、百合さんの物置小屋に住み着きました。雪子ちゃんはトランプや夜更かしやバターが大好きで、数学が苦手です。いずれは溶けてしまうので、いつの好奇心旺盛。「溶けちゃう前に」大冒険！山本容子の銅版画も素敵です。



「雪のひとひら」 ポール・ギャリコ/著 矢川澄子/訳

ある寒い日、雪のひとひらは生まれました。地上に舞い降りたときから、彼女の長い旅が始まった。伴侶となる雨のしずくとの出会い。新たな命の誕生。自然の姿に託して女性の一生をつづる、美しく優しい物語。



「雪の写真家 ベントレー」 マーティン・ジャクグリーン、フリックス/著 アゼリアン、メアリー/絵

小さな農村で生涯を雪の研究と結晶の写真撮影にささげ、ついに世界的な雪の専門家としてたたえられるようになったW・A・ベントレー。家族の愛情に見守られ、アメリカの古き良き時代を背景にベントレーの人生をつづった心温まる伝記絵本です。